

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 2 月 3 日(2022.2.3)

【公開番号】特開 2020-146220(P2020-146220A)
 【公開日】令和 2 年 9 月 17 日(2020.9.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-038
 【出願番号】特願 2019-45951(P2019-45951)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 0

A 6 3 F 5/04 6 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 26 日(2022.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定のリールと、

所定の被検出部と、

所定のセンサと、

遊技メダル投入口と、

遊技メダル投入口から投入された遊技メダルが通過する通路中に設けられ、遊技メダルを検知し得る検知手段 A 及び検知手段 B (検知手段 B は、検知手段 A より下流側に位置する)と、

30

を備え、

所定のストップスイッチが操作されて前記所定のリールが停止したときにリール表示窓の縦方向における上段、中段、下段のそれぞれに図柄が停止するよう構成されており、

前記所定のセンサが前記所定の被検出部を検出したタイミングのリール表示窓の前記中段には 2 つの図柄のそれぞれの一部が位置するよう構成されており、

前記所定のセンサが前記所定の被検出部を検出したタイミングのリール表示窓の前記中段に位置する前記 2 つの図柄のうち上部の図柄の中心がリール表示窓の前記中段の中心よりも上側にあるよう構成されており、

所定の状況にて、遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合において、当該遊技メダルに対する検知手段 A と検知手段 B の検知結果が所定条件を満たすと、クレジット数に「1」が加算される場合があり、

40

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値を T 1 とし、

所定の状況にて、遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルを検知手段 A が検知する時から、当該遊技メダルを検知手段 B が検知して当該遊技メダルを検知手段 A が検知しなくなり当該遊技メダルを検知手段 B が検知しなくなる時までの期間の設計値を T 2 としたとき、

T 1 > T 2

となっている

遊技機。

50

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

上述した課題を解決するために、本発明は、

所定のリールと、

所定の被検出部と、

所定のセンサと、

遊技メダル投入口と、

遊技メダル投入口から投入された遊技メダルが通過する通路中に設けられ、遊技メダルを検知し得る検知手段Ａ及び検知手段Ｂ（検知手段Ｂは、検知手段Ａより下流側に位置する）と、

を備え、

所定のストップスイッチが操作されて前記所定のリールが停止したときにリール表示窓の縦方向における上段、中段、下段のそれぞれに図柄が停止するよう構成されており、

前記所定のセンサが前記所定の被検出部を検出したタイミングのリール表示窓の前記中段には２つの図柄のそれぞれの一部が位置するよう構成されており、

前記所定のセンサが前記所定の被検出部を検出したタイミングのリール表示窓の前記中段に位置する前記２つの図柄のうち上部の図柄の中心がリール表示窓の前記中段の中心よりも上側にあるよう構成されており、

所定の状況にて、遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合において、当該遊技メダルに対する検知手段Ａと検知手段Ｂの検知結果が所定条件を満たすと、クレジット数に「１」が加算される場合があり、

所定の状況にて、電源の供給が遮断される事象が発生した時から、当該電源の供給が遮断される事象を検知し、電源断処理を実行する時までの期間の設計値をＴ１とし、

所定の状況にて、遊技メダル投入口から遊技メダルが投入される場合における、当該遊技メダルを検知手段Ａが検知する時から、当該遊技メダルを検知手段Ｂが検知して当該遊技メダルを検知手段Ａが検知しなくなり当該遊技メダルを検知手段Ｂが検知しなくなる時までの期間の設計値をＴ２としたとき、

$T1 > T2$

となっている

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50